

加計  
問題

# 首相の名を使い 税金食い物に

## 共産党・志位委員長が党首討論で追及

「加計学園がたびたび総理の名を使い、巨額の補助金をかすめ取っていたことは明らかではないか」。日本共産党の志位和夫委員長は6月27日、安倍晋三首相との党首討論に立ち、加計学園疑惑を追及しました。



### 「前に進める」ため首相の名使い 補助金が50億から93億円に

志位氏は、加計孝太郎理事長が19日の記者会見で、愛媛県文書が明記している2015年2月25日の安倍首相と加計理事長との面談について、「事を前に進めるため」の学園職員の「作り話」だったと釈明しているのに対し、「信じがたい釈明だが、総理の名を使ったのは『事を前に進めるため』だったという言明は、きわめて重大だ」と述べました。

そのうえで志位氏は、「現実はどういう『事』が『前に進んだ』か」と問いかけ、国家戦略特区への獣医学部新設の認可が進んだだけでなく、愛媛県と今治市の加計学園への補助金が大幅に増えたという事実を突きつけました。

愛媛県文書では、15年3月15日、市が学園に対し「50億円の支援と用地の無償提供が限界」「県としても厳しいの話を受けている」などと述べたことを明記しています。

ところが、その後の4月2日、県と市の担当者が柳瀬唯夫首相秘書官(当時)と首相官邸で面会し、柳瀬氏から「自治体がやらされモードでなく、死ぬほど実現したいという意識

をもつことが最低条件」と強く迫られたことを記しています。

その結果、今治市と愛媛県で合わせた補助金が50億円から93億円へと大幅に膨れ上がった事実を示し、今治市長が補助金の増額の理由を「今治市の心意気を示すためだ」と発言していることもあげ、「死ぬほど実現したいという意識」を求めた首相秘書官の深い関与を浮き彫りにしました。

「この経過が示すものは、総理の腹心の友が経営する学園が『事を前に進めるため』に総理の名をたびたび使い、総理秘書官が深く関与し、巨額の補助金—国民の税金をかすめ取っていたということではないか」。こうただした志位氏に対し、安倍首相は一連の事実を否定できず、「私はあずかり知らないところだ」などの逃げの答弁を繰り返すだけで、まったく反論できませんでした。

志位氏は、「こんなことは民主主義の国で絶対に許されない」と厳しく批判し、加計氏の証人喚問を強く求めました。

## ウソつき政治はもうごめん 真相究明、内閣総辞職を!!

総理の名を使い、国民の税金が食い物にされる—こんなことは民主主義の国で絶対に許されません。「うそをつく政治はもう終わりにさせ、内閣は総辞職せよ」の声を、さらに大きくあげましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

# 吉良よし子

# 日本共産党

東京  
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590  
2018年6・7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

加計  
問題

# 首相の名を使い 税金食い物に

## 共産党・志位委員長が党首討論で追及

「加計学園がたびたび総理の名を使い、巨額の補助金をかすめ取っていたことは明らかではないか」。日本共産党の志位和夫委員長は6月27日、安倍晋三首相との党首討論に立ち、加計学園疑惑を追及しました。



### 「前に進める」ため首相の名使い 補助金が50億から93億円に

志位氏は、加計孝太郎理事長が19日の記者会見で、愛媛県文書が明記している2015年2月25日の安倍首相と加計理事長との面談について、「事を前に進めるため」の学園職員の「作り話」だったと釈明しているのに対し、「信じがたい釈明だが、総理の名を使ったのは『事を前に進めるため』だったという言明は、きわめて重大だ」と述べました。

そのうえで志位氏は、「現実はどういう『事』が『前に進んだ』か」と問いかけ、国家戦略特区への獣医学部新設の認可が進んだだけでなく、愛媛県と今治市の加計学園への補助金が大幅に増えたという事実を突きつけました。

愛媛県文書では、15年3月15日、市が学園に対し「50億円の支援と用地の無償提供が限界」「県としても厳しいとの話を受けている」などと述べたことを明記しています。

ところが、その後の4月2日、県と市の担当者が柳瀬唯夫首相秘書官(当時)と首相官邸で面会し、柳瀬氏から「自治体がやらされモードでなく、死ぬほど実現したいという意識

をもつことが最低条件」と強く迫られたことを記しています。

その結果、今治市と愛媛県で合わせた補助金が50億円から93億円へと大幅に膨れ上がった事実を示し、今治市長が補助金の増額の理由を「今治市の心意気を示すためだ」と発言していることもあげ、「死ぬほど実現したいという意識」を求めた首相秘書官の深い関与を浮き彫りにしました。

「この経過が示すものは、総理の腹心の友が経営する学園が『事を前に進めるため』に総理の名をたびたび使い、総理秘書官が深く関与し、巨額の補助金—国民の税金をかすめ取っていたということではないか」。こうただした志位氏に対し、安倍首相は一連の事実を否定できず、「私はあずかり知らないところだ」などの逃げの答弁を繰り返すだけで、まったく反論できませんでした。

志位氏は、「こんなことは民主主義の国で絶対に許されない」と厳しく批判し、加計氏の証人喚問を強く求めました。

ウソつき政治はもうごめん 真相究明、内閣総辞職を!!



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

吉良よし子

東京  
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590  
2018年6・7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党